

勝山小学校跡地検討会議（第2回） 会議録

1 日時

令和6年6月7日（金） 午後7時から

2 場所

勝山会館

3 出席者

（検討会議メンバー）

右近智子委員、川本俊永委員、木村亜里沙委員、辻田みさを委員、永田嘉昭委員、
原田富士夫委員、和田友祐委員

（生野区役所）

筋原 章博 生野区長

川楠 政宏 生野区役所まちづくり推進担当課長

杉山 百合子 生野区役所まちづくり推進担当課長代理

森本 晴久 生野区役所地域まちづくり課担当係長

吉田 友恵 生野区役所地域まちづくり課担当係員

（傍聴）

なし

4 議題

（1）勝山小学校の跡地活用で特に望まれる要件について

（2）地域コミュニティ機能の継続について

5 会議資料

・ 次第

・ 議事資料 第2回勝山小学校跡地検討会議（議事資料）

・ 参考資料1 生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想 概要版

・ 参考資料2 生野南小学校跡地活用計画 概要版

・ 参考資料3 勝山小学校使用状況

6 会議内容

（森本生野区役所地域まちづくり課担当係長）

- 本日はお忙しいところ、また、お出ましにくい時間帯にも関わりませず、お集まりいただきまして、ありがとうございます。定刻となりましたので、第2回目の「勝山小学校跡地検討会議」を始めさせていただきます。
- 私は本日の司会進行を務めます、生野区役所地域まちづくり課担当係長の森本です。どうぞよろしくお願いいたします。着座にて失礼いたします。それでは議題に入ります前に、会議の位置付けについて、ご説明させていただきます。

- 本会議は、大阪市の「審議会等の設置及び運営に関する指針」に沿って、生野区役所が主催する「行政運営上の会合としての会議」として、開催をいたします。なお、本市の規則によりまして、会議は原則公開とし、後日、事務局にて、本日の内容を取りまとめた、ニュースを作成し、勝山地域の掲示板への掲出や、区役所のホームページでの掲載、町会での回覧をお願いする等いたしますので、録音や撮影について、ご了承のほど、よろしくお願い申し上げます。次に、本日の配付資料についてご説明の方をさせていただきます。まず、勝山小学校跡地検討会議、第2回の次第がございます。次に表紙がオレンジ色の第2回勝山小学校学校跡地検討会議と記載された、本日の議事資料がございます。次に、参考資料1としまして、「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想 概要版」がございます。次に、参考資料2といたしまして、「生野南小学校跡地活用計画 概要版」がございます。次に、参考資料3といたしまして、「勝山小学校使用状況」がございます。資料としては以上でございますけれども資料はお揃いでしょうか。よろしいでしょうか。それでは、会議の開催にあたりまして生野区長、筋原よりご挨拶申し上げます。

(筋原生野区長)

- 皆さんこんばんは。区長の筋原でございます。本日はお仕事やご家庭のご用事でお忙しい中お集まりをいただきまして誠にありがとうございます。
- 本日、勝山小学校跡地検討会議第2回目ということで、前回の第1回目ですね、この会議の場で話し合っていく内容についてご説明させていただいて、また地域の方へ広く周知をするべしということでご意見をいただいておりますね、ニュースを作成しまして、周知をさせていただいたところでございます。
- 本日は第2回目としまして、勝山小学校で今この勝山地域の地域活動ですね。たくさん行われていますので、跡地でですね、地域活動の場としての機能、どういう機能が必要か、また今、どういう活動が行われているかということを、ご説明をさせていただきまして、どういう活用が望ましいのか、という点について皆さんのご意見をいただきたいと思います。
- また、第3回目以降で、避難所の機能に関しましても、具体的にお話を伺いたいと思っておりますので、本日どうぞよろしくお願い申し上げます。

(森本生野区役所地域まちづくり課担当係長)

- それでは早速ですが、議事の方に入らせていただきます。表紙がオレンジ色の第2回勝山小学校跡地検討会議と記載された、本日の議事資料をご覧ください。それでは資料につきまして、まちづくり推進担当課長の川楠よりご説明させていただきます。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- こんばんは。川楠でございます。どうぞよろしくお願いします。着座にて、資料の説明をさせていただきたいと思います。よろしくお願いします。
- それでは1枚おめくりいただきましてですね、1ページ、跡地活用の基本的な考え方

ということで、第1回の資料にも同じような資料をつけさせていただいておりますけれども、ちょっと前半部分は、おさらいと言いますか、改めてご説明させていただきたいと思います。1ページでございます。学校跡地を活用する基本的な考え方ということでございます。

生野区西部地域は、密集住宅市街地ということで、学校は避難所など地域の防災拠点として、大変重要でございます。また、地域の様々な行事が行われているということでございますので、地域コミュニティの拠点としても重要であるということで、1ページの前段部分、地域避難所機能、コミュニティ機能の維持ということで、こういうことを踏まえまして、生野区西部地域学校再編におきましては、閉校となる小学校跡地を防災拠点、地域コミュニティの拠点といたしまして、民間事業者への貸付などをしながら、地域のまちづくりに繋がる活用を行っていくこととしております。

- 後段部分、地元の学校跡地活用にあたっての基本的な考え方の1つということで、「生野区西部地域の学校跡地を核としたまちづくり構想」を策定しておりまして、跡地活用に当たりましてはこのまちづくり構想に基づきまして、校舎校地を核としたまちづくりや、まちの活性化、持続可能な利用方法について地域の皆様方のニーズ等を踏まえながら検討していくこととしてございます。

また、資料、概要版でございますが、今日付けておりますので、また改めてご覧いただけたらと思います。

- 2ページでございます。跡地活用の基本的な考え方、まちづくり構想の実現に向けた基本的な考え方ということで、1から6まで示させていただいております。

1番、防災拠点としての機能を有することが、跡地活用の大前提でございます。

2番、地域コミュニティ機能として、現在、学校を活用して行われている、地域活動につきましてはできる限り、活動団体のニーズ等を踏まえた対応を行いたいと思っております。

また3番、パブリックマインド、公共的な精神ですね、公共心を持った地域連携、地域貢献に資するような活用を行っていくこと。

4番、持続可能な跡地運営の仕組みの導入。

5番、跡地活用のエリアへ、学校跡地だけじゃなくてその周辺エリアへの波及力の視点、

6番、学校跡地を核としたまちづくり構想の学びの視点を持った跡地活用を図っていくということとしております。

- 次のページ3ページでございます。跡地活用の要件としまして具体的に、学校跡地の活用計画、また、公募する際の公募の実施要領で、事業者の方に示していく要件でございますが、前提となる共通の要件を、今の考え方に沿って記しております。

それにプラスいたしまして、勝山小学校の校地の活用で特に望まれる要件ということで、従前からですね、地域の皆さん方のご意見を頂戴したいといっていた部分、大きなところはここでございます。

勝山地域として望ましい要件ということで、これまた後程、皆様方からのご意見とか、承って参りたいと思っておりますのでこのオレンジの部分ですね。ここを意識していただけたらと思います。

- 4ページでございます。跡地活用の基本的な事業運営スキームということで、ご説明させていただいております。その他、マーケティングリサーチの結果なども踏まえましてですね、まとめていってまいります。

基本的には、1つの事業者が土地全体を借り上げて運営するというもので、また、転貸は原則として禁止でございますが、貸し付けの趣旨にふさわしい内容であると判断できる場合は、全体を転貸することはできませんけれども、必要最小限の範囲で、転貸することも可能ということにしていきたいと思っております。

また、貸付方法につきましては、勝山小学校、以前からご説明の通り、校舎等を残して、活用することが困難という状況でございますので、事業用定期借地契約、借地といたしまして、概ね50年の貸付を想定している、ということでございます。

- 5ページでございます。これは参考ですが、本市と事業者につきまして、事業者との費用負担の考え方でございます。土地の貸付料でありましたり、公租公課、どちらが負担するのかなというような負担割合といったものでございますので、参考にご覧いただけたらと思います。

- 6ページでございます。この6ページは、事業者への貸し付けが始まりましてですね、事業運営するということになった場合、どのように（運営するのか）というのと、それがきちんと運営されているのかというのをチェックすることも必要かと思っております。それを説明しております。事業者が事前に提案した提案内容通り事業を行っているかどうか、事業者が運営を開始するまでに、事業者が主催する、地域への説明会をしていただきたいというふうに思っております。また、事業者と地域の皆様と区役所の3者によります運営協議体を設置いたしまして、概ね年2回程度、事業の運営状況の確認や地域活動、防災について協議を行わせていただきたいと思いますと思っております。

それに加えて、区役所の方といたしましても、活用状況を確認するモニタリング調査、実地調査を行いまして、事業者が継続的に提案してきた、約束した提案内容を守っていただく体制を整備させていただきたいと思っております。

- 7ページでございます。この跡地検討会議を含めましてですね、今後こういう跡地活用の事業におきましてですね、大事なことをまとめております。

1から7番までということで、まとめておりまして、例えば先ほどの説明にもありましたような、防災拠点としての機能を確保するというものでありましたら、地域の方々が入ってどうするのか、鍵の交換も必要かなというところもあります。そういったところ、順次あげさせていただいており、これから、こういったことを整理しながら進めていきたいと思っております。おさらい的な部分は以上でございます。

- 次に8ページでございます。先ほどから申しているように、本日、第2回では、勝山小学校の跡地活用で特に望まれる要件についてということで、先ほどのページのオレンジの囲みの部分ですね、勝山地域として特に望んでいきたいというようなことを、皆様のご意見頂戴したい、と思っております。

2番、地域コミュニティ機能の継続についてということで、地域行事でありましたり、学校で行われている活動、そういった部分を確認しながら進めて参りたいと。第3回以降につきましては、避難所機能の確保ということで、次回以降、防災に関する考え方、皆様方のご意見を頂戴しながら整理をしていくと、というようなことをやって

参りたいと思っておりますので、それは第3回まで、お待ちいただきたいと思います。
本日は第2回ということで、1・2について、でございます。

- 9ページ、おめくりいただきまして、ここからご意見頂戴したいというところがございます。まず、これまでの事例をご確認いただけたらと思っております。

この御幸森から生野、林寺、生野南と4地域の4つの跡地で、学校跡地の活用が始まっております。そこで（それぞれの地域で）、先ほどから申し上げます地域の、特に望まれる要件ということ、こういうお話し合いの場を設けながら、とりまとめてきたというのが、この4つの地域の跡地活用で特に望まれる要件ということでございます。

例えば御幸森でありましたら、多文化世代が共生できる場所とすること。校区域ならではの文化を生かした様々な学びに変えられる場所とすることということで、そういう条件を付け加えまして事業者募集をした結果ですね、右側、事業内容としましては、食を中心とした複合施設と書いておりまして、食を中心としたそういうテナントでありましたり、多文化共生の施設としてNPO（法人）でありましたり、そういったところが、複合施設として今運営されております。

次に、生野地域でございますけれども、校舎周辺エリアの特徴を生かし、エリアとの繋がり、波及が見込める教育機関など、様々な学びの場となるものを条件といたしまして、結果、インターナショナルスクールが進出しております。

林寺地域につきましても、インターナショナルスクールが進出をしておりますが、要件の方は、地域と共存共栄し、地域活性化に寄与する教育機関など、様々な学びの場となるもの、というようなことを要求されております。

最後に、生野南地域でございます。こちらの方は、天王寺区にある学校法人が進出させていただいておりまして、子どもも大人も新たな学びと交流の機会が得られる場所であるものということで、設定をされました。

こういったことを参考にいただきながら、勝山小学校跡地におきまして、どのような、事業者に対する要件ですね、求めていくのかということ、皆様方から本日もご意見をいただきたいと思いますと思っております。

また今日ですね、すべてこの（資料の）ような形で、文言確定し、文章にしてつていうようなところまでは至らなくとも、いろんなエッセンス、で結構です。何でも結構です。頂けたら、また後日、我々の方で整理しながら、次回お示しするようなことでも構わないと思っておりますので、どんどん忌憚のないご意見をいただけたらと思います。

一旦ここでちょっと区切りましてですね、議題が区切れますので、この勝山小学校の跡地活用の特に望まれる要件の点で、皆様方からご自由にご発言いただきたいと思います。

（検討会議メンバー）

- 今ね、各地域のあれ（活用状況等）、言われました。その時に、うまくいっている部分もあるだろうけども、課題もあるんじゃないですか、やってみて。その辺はどうなんでしょう。ここが（活用を）やったけど、ここはやっぱり問題やと、ここはちょっと

うまくいってないよというところを。勝山がそれやったときにうまくいかない部分を少なくしたい。

(筋原生野区長)

- 正直に申し上げますけど、やっぱり学校の後は学校がしっくりくる、っていうのが実感ですね。

やっぱり商業をやると、どうしても、コロナで大変な時でもあったんで、事業を止めたら倒産したら元も子もない。だから商業の場合、できるだけ自由にやらんとあかんという要素と、地域の活動と避難所機能、この両方を担保せなあかんという、なかなか調整がね、なかなか合意が難しかったりしました。そういう点で言うと、やっぱり生野・林寺はインターナショナルスクール、生野南は専門学校ですね。そういう、学校の後に学校っていうのは、比較的、割とそんなに違和感なく、活動も避難所機能も継続できてるなっていうのが、これは僕の正直な印象なんですけど。

(検討会議メンバー)

- それとね、勝山小学校は（建物の）耐用年数終わるじゃないですか。御幸森とか、林寺なんかは、この耐用年数はいけてるんですか。

(筋原生野区長)

- それは耐用年数のぎりぎりまでを賃貸期間にします。20年やったっけ…。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 御幸森は20年で、林寺も20年、生野と生野南が25年。

(検討会議メンバー)

- 逆に言うたら勝山は（貸付期間が）50年と言ってたけど、50年ある方が、先をずっと見通せる計画になるので、逆にありがたい、みたいなイメージですか。

(筋原生野区長)

- それは、そうですね。新たに建てて…できますから。最終50年まで、いけるので。定借は。一番安定した形にはなる。

(検討会議メンバー)

- そういう面で言うたら、耐用年数もう切れている、逆に、ゼロスタートで、きれいにスタートできる。

(筋原生野区長)

- 長く、安定的にはいける。

(検討会議メンバー)

- この前、防災のときに言うてはった、何年間かブランクがありましたね、4年ほど。潰して建て替えるという。その間の防災拠点はどこになるんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- それがですね、先ほどからちょっと勿体つけておりますけど、第3回で。防災担当で今、検討を進めてるところもありますので、そのような状況をお示ししながら、一緒になってちょっと考えていきたいと思っております。何がしか、今の現状等整理したものはお示しできると思うんですけども。次で説明しようと思ってた内容なんですけど、建物を解体するのに大体2年ぐらい。新しいものを建てる、事業者側が建てるんですけども、それも2年ぐらいかかるだろうと思えば、大体4年ぐらいは、現地で

何か工事してる、使えない状況というのが、4年ぐらい続くんじゃないかと思込んでるんですけど、その間どうするのかっていうことは本当に課題だと思ってますので、この辺はきちんと安心していただけるような形、どこまで実現できるかということもありますけど、しっかり考えながらやっていきたいと思っています。

(検討会議メンバー)

- 今ね、勝山全体で防災会議を毎月やって、結構みんな来てくれてるんですよ。30、40人と来てくれてはって。みんなもう、顔なじみになって何かあったら「どこの誰や？」にはならんようなレベルまできてるんちゃうかなと僕自身は思ってるんですけど、だけれどまあ、勝山小学校無くなったら、分散しますよね、絶対。

(筋原生野区長)

- まあ4年後にできあがったらもうそこで…。

(検討会議メンバー)

- それはそう。

(筋原生野区長)

- だから、4年間はですね、その間は、すみません、ちょっと…。

(検討会議メンバー)

- 分散しますよね。

(筋原生野区長)

- まあ、極力分散せえへんように、まとまっていける、近隣の学校とかちょっとお聞きしたりしたいなとは思ってるんですけど。はい。

(検討会議メンバー)

- 多分、避難所って、「避難する」という機能もあるけど、コミュニティっていうか、知ってる人の顔見たら安心するっていう部分がある…。

(筋原生野区長)

- それがものすごく大事。

(検討会議メンバー)

- …そう思うんですよ。だから、学校がなくなって、例えば、一部の人だけ西生野に避難して、なんか全然知らん所に、こそっと入って、コミュニティが築けるのかなあ、という心配があるんです。

(筋原生野区長)

- 生野区の場合は津波が来ませんので、だから、多分、そんな長期の避難にはならないのではと、シミュレーション的にはそう思ってるんですけど。ただ、とは言え、東日本（大震災）のときでも、やっぱり顔の見える町会単位とかで避難していただいた方が、その後の健康状態は、確実に良いんですね。全くバラバラで（避難所に）行くと、その健康状態が、全然違うんですよ。ですので、やっぱりそのコミュニティ避難というか、コミュニティの単位で、町会さんごとに、という形で避難していただくというのが必要なんですよ。

(検討会議メンバー)

- もしね、いつ起こるかかわかれへんからね、（災害が）起こった場合に、未来学園（に避難所）があったり、プール（学院）があったりするときに、僕らがね、未来学園行っ

てね、なんか肩身の狭い思いをするのも嫌やし。

- そう思います。「お前誰や」って言われたら嫌やね。
- 「ここは、西生野の地区の避難所です」とか（言われたら）ね。
- いや、そういう意味ではね、例えば東桃谷やったらね、東桃谷小学校はグラウンドが広がってね、芝生のエリアもまるで甲子園球場かなというような、グラウンドがありますよね。その隣に桃谷中学校があって、勝山通り渡ると桃谷高校もある。それで、もう少し東のほういくとね、气象台公園があって、大変恵まれてはると思うんです。

もうちょっと南側行けば生野東公園かな、あれは生野地区の連合の地域やと思うんですけども、広い公園がありますよね。そうやって考えたら勝山ってね、勝山小学校が拠り所。勝山小学校をまあ、借りはるのか、買わはるのか知らないけど、一旦潰して、今度、誰かが買った（借った）人がね、どんななんかもわかりませんよね…。

（筋原生野区長）

- いや、それはここで条件を付して、（活用を）やるので…。

（検討会議メンバー）

- でね、今まで私ら小学校があるから、そこを拠り所に使ってたものを、今度はそこへ行行って、使わせて頂戴、貸して頂戴って言うのもねえ…。

（筋原生野区長）

- いや、それはもうそこは避難所機能というのを条件にして、貸しますのですね。それは（条件を）当然わかった事業者が来ます。

（検討会議メンバー）

- 避難所機能もそうですけどね。桜の見える会とか、それから、今度、今年はたそがれコンサートもする。あとは餅つき大会とかね、そういうパターンもありますやんか。
- それは条件に入れてます。
- 入れてはってもね。教育関係が望ましいということですけども、そののやっぱり…部活もあるしね。

（筋原生野区長）

- それを条件にして、それを満たせないところは、落としますんで。

（検討会議メンバー）

- うん。だからね、話を何か原点に戻すようで悪いんですけどもね、講堂の方が使えるんやったら、それを残してもらってね、後は全部、更地にしてもらってね、みんなが集えるような公園にでもしてもらわれへんやろうかって思うんですよね。勝山地域にはね、そういうまとまってる所が無いんですよ。勝山北公園とか西公園、猫間川公園。猫の額みたいなんです。
- 講堂もあかんみたいですよ。だからもう全部潰さなあかん。それでこれ建て替えなあかん。今度買うところは、それを全部建て替えるということですよ。
- せやけど、この参考資料の絵見たらね、公園みたいにしてはるやんか。
- グラウンドにしてくれるかも分からへんし。だからやっぱり、今の間に条件を。聞いてもらえるかどうか分からへんけど。追加できる条件ね。全部通るとは限らん思いますけどね。
- そうね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 今お聞きしたご意見はご最もだと思ってまして、今おっしゃられたそのグラウンドとして使ってくれるかもわからへんというご意見。これも防災上必須な、ある程度一定の大きさ、広さの広場が必要ですよということも条件として出てくるでしょうし。例えば講堂のような、ある程度大きな人数が入れるような、大きさの会議室を用意しなさいとか、ということも条件になるでしょうし。いろんなことをちょっと、今後、防災のことはまた次回以降詳細を、ですけど。

地域活動を、こんなことやって、こんなことやってます、毎月、どこでやるとかね、そういうことも経ながら、そういう条件にしていくという。

今日の参考資料でお付けしてます、まちづくり構想ではなくて、もうひとつ、生野南小学校の跡地活用の、これ活用計画の概要版なんですけど、ここに同じような問題意識を書かしていただいた上で、どのような条件付けているかというところが、載っております。

活用に当たっての考え方ですね。後ろの方から見た方が良いですかね。防災機能とコミュニティ機能ということで、生野南は、校舎、建物が残りますので、その条件で、講堂とかグラウンドを開放しなさいというような条件を付けてます。

地域コミュニティについては、今までの活動をやっていた活動については特に地域のニーズ、意向を踏まえて、継続して実施すること、こういうふうなことを条件設定しましたんで、結果、今の形で、学校法人が入りましたけれども、活用できるようなことを地域の中で調整しながら。今（話し合い）やっていっておりますが、なかなか形に…まだ建物、形も何もまだなっていない状況ですので、不安の方が大きいと思いますので、その辺はそういう思いをお持ちだということは十分認識しながら進めたいと思っており、また次のページ以降ですねその辺り、お話をさせていただきたいと思います。

(検討会議メンバー)

- 今、偕星は防災拠点になっているんですか。何かあったときに、避難者を、受入れる施設にはなってるんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 指定避難所にはなってます。

(検討会議メンバー)

- あそこは耐震大丈夫なんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- うーん。そこまで聞いたことはないです。防災担当で聞いたらわかるかもしれません。

(検討会議メンバー)

- 今まで出てたように、子どもを遊ばせる場所は、本当に少ないなと思います。私は西公園が近いんですけど、あんな狭いところでボール持っていけないし。なんかやっぱり、今おっしゃったみたいに本当に広い場所だったら、場所があるだけで、子どもは遊べるので。そういうのは、やっぱ子どもを持つ親としては気になります。
- 勝山小学校の跡ってなったら、あそこだっ広いからな。あそこ何とか。
- どなたが、借り上げられたとしてもそのまま…この曜日のこの時間は自由に遊べるよ

みたいなことだと（良い）。前に、地域で、青指（青少年指導員）の方々がね、雨で体育館になっちゃったけど、「皆、地域の人で、狭い公園じゃなくて広い校舎を使って遊ぼうよ」みたいな、「校庭使って遊ぼうよ」という企画をさせていただいたんです。これは（私は）行けなかったんですけど、そういう取り組みもすごい、親としてはありがたいし、子ども同士集まればね、いろいろな学年、年代でも、遊びたいし、そういう意味では地域の繋がりも、親同士も繋がれるんじゃないかと思う。

- だから、今言ったように子どもという問題もあるし、僕ら、高齢者もいっぱい居る訳ですよ。そういう人たちが、その学校で、いろんなことができるっていう条件っていうのかな、「これはやらしてね」という話だよ。

- あと、ちょっと細かい話なんですけどね。僕ら町会で、いつもここで何かをやってる、っていう場所があるんですね、ちょっと若干空きがあって、ちょっとここでやってるという場所があるんだけど、この場所が、例えばちょっとマンションが建ったとかいうようなことで、使えなくなるっていうパターンがあるんです。それじゃ、その行事をやめるか、もう学校借りるしかないんですね。他のところで、できひんからね。

それとか、最近、近隣問題とかあって、ここの家の人から「うるさい」（と言われたり）とか、今まで言われたこと無いようなことが、今まで普通に当たり前でできとった行事も、もう事前にもう何か持って「ごめんなさい」言って、頭さげまくって、何とかやってきてたけど、それもできないっていう。今まで地域でやってきた行事ができなくなったときには、やめるか学校しかないんです。だから…その、無理を言うつもりはないんですけど、いろんな行事も、今（この場で全部は）出えへんじゃないかなっていう気もするんです。

（筋原生野区長）

- （要件設定に）ちょっと余裕を、もうちょっと、という…

（検討会議メンバー）

- そうそう。ちょっと余裕を含めてほしいなと。

（筋原生野区長）

- 1日ぐらいとか。

（検討会議メンバー）

- そんな感じ。子どもが自由に遊べる、P（PTAの活動）も（含めるとか）ね。

（川楠まちづくり推進担当課長）

- 今の跡地の事例で言いましたら、先ほど小学校なんかは、学校の方、さっきのインターナショナルスクールですけど、学校の行事をやりたい（使いたい）となると、地域の方で、例えば学体（学校体育施設開放事業）とか何かの活動がある時と、かち合うという可能性もあって。実際かち合ったりする。

それも今、学校の行事こんなやりたいからいつ学体ちょっと使わせてもらえませんか、というお話し合いを事前にちゃんとして、じゃあこの時はこうしよう、という、実際はもう、事業者と地域の方々交えて、我々も間に入って調整していくという形になると。ただ今おっしゃられたようないろんな、ちょっと今までやってなかったようなことを学校でできへんかというようなことも、それも含めて…

（検討会議メンバー）

- 例えば6町会、あそこは小学校で太鼓の練習やってるでしょ。あれもイレギュラーでぽっと入ってるでしょ。そんなのも多分あると思うんです。
- 今年はまだできると思うんですけど、もう学校つぶして多目的室なくなったら、太鼓の練習どこでしょうかっていう、そこら辺やってくださいとはね…。

(筋原生野区長)

- なかなかできるどころ限られてきますね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 校舎と向かいの家が接してるようなところでやると。やっぱりそこはえらい事になってしまう。

(検討会議メンバー)

- 多分、やっぱりねえ…音は特に。
- 家に居てはるようになって、今まで言われなかったのに、急に怒られるようなことがある。

(筋原生野区長)

- 太鼓はやっぱり、できる場所すごい少ないですね。

(検討会議メンバー)

- それはやっぱり学校やからって我慢してくれてる…
- それとあとね、大体、日曜日にしてるんですよ。日曜日だったら、前は幼稚園があるでしょ。あと、表出たら勝山通りでしょ。だから、裏側ぐらいいやね。
- 結構、学校だから許される、っていうか我慢していただいてるっていう部分はあると思うんですよ。でもそれが他の場所だったら、うるさいって言われるね。
- だからなるべく(条件として事前に出せるものは)出すけど、イレギュラーなものは、多分出てきます。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- それをどこまできちんと言葉にして、この要件のような形で入れるかということと、逆に縛りすぎると事業者の進出の機会も…という兼ね合いも難しいかなと思います。

(検討会議メンバー)

- なるほど。それ、例えば開校したら、例えば勝山(地域)の誰かが窓口になって、学校の誰かが窓口になって(調整していく)というふうになるんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- それのほかに、先ほどちょっと説明した三者の協議体っていうことで、皆様方の中から代表の方、事業者の方も折衝、窓口役、と我々で、定期的にそういうような話し合いをすとか。日常的にも普段からやりとりを進めていきたいと思いますし…。

(筋原生野区長)

- そこはいろいろ。林寺なんかは、インターナショナルスクールが地域アドバイザーを雇用するという形で、それぞれ調整して、だいぶ…。

(検討会議メンバー)

- そういうコーディネイター入らなね…。
- 50年もコーディネイター続けられる人いてないね…。

(検討会議メンバー)

- これ、勝山小学校のエリアって、東桃谷小学校にいくグループと、未来学園の方にも行くんですね。そしたらその、分かれてしまうと、今のこの勝山っていうコミュニティの機能が、維持できるのかなって。形が変わってきて、みんなの生活スタイルも変わってくるから、望むものも変わってくるし、今までの勝山のコミュニティとはまた別のものが何か、できてくるのかなと。そうやってきたらね、どこまでこう、こっち側が責任持って動いていくべきだとか、それとももうこの部分は切り離して、東桃谷の方にお任せします。この部分はもう未来学園さんの方にお預けしますっていう方がいいものなのか。
 - あのね、子どもはそれでよいと思う、どっち行きはってもね。要するに1つ1つの勝山連合という、そのものが分散されるわけね。例えば生野西に、と。今まで一緒にやってきた部分が、違う形になっちゃうと、勝山は連合そのものが2つに分かれたり…。
 - そうなってきたら、例えば跡地を活用させてもらって、なんかコンサートか何かやるにしても人数も減ってくるだろうし、形が大分変わってくるのかなと思うんです。
 - 青指さんでも今から言うてはるね。
 - 青指、青福（青少年福祉委員）なんかはもう、ほんまにどうやっていくかっていうのは…
 - できませんわな。まとまった活動なんていうのができなくなってきましたよね。前回は言いましたけど、(勝山地域は南北に)長い区域やからね。その地域分けられるとね…。
 - だから、1町会から10町会までが、町会費を連合の方に入れてくれはるから、青指はある程度の金額をもらって、バスをチャーターして子どもたちに安価に、2泊3日のキャンプができる。でも、それがうち出来へんようになってくるのかな…と。どういうふうな活動に変わってくるんだろうというのを考えると、これからの青指・青福…。
 - だから、それはね、やっぱり…今のやってることはできないかもしれない。だから、分散された場合に、この町会費がね、こっち入ってけえへんかったら青指の活動できませんよっていうけども、できるような行事にしていかないと仕方ないけどね。
 - だからって、勝山の子だけ連れて行くって訳にいかないでしょ。学校が向こう行ってしまうたら旧勝山の方だけでって…。
 - でもね、小学校の子どもが、未来学園行くんや、東桃谷小学校行くんや、ってなっていくと、その周りの大人の人も、じゃあ俺らのエリアもこっちやな、ってなってくる。
- 避難するのもわざわざ遠い東桃谷小学校とか、ここ（勝山小学校）まで来なくても、目の前にある未来学園へ避難させてもらおうわってなってきたら…うーん…どうなんかなって…。
- だから、その勝山連合という1つの共同体みたいなね。この辺が維持できるかどうかっていうのは。
 - せっかく一枚岩になってたのに、それが分かれてしまうじゃないですか…。そしたら規模も小さくなるから、することも変わってくるし、予算も変わってくるしね。だからその辺の、向こう、東桃谷との話し合いもせなあかんし、未来学園との話し合いせなあかん。どういうふうな活動できますか、どういうふうなイベントができますかっていうので、変わっていくんですか。そうなってきたら、勝山連合解体せなしやあな

いようになってきますよね。

- 地域なくなってしまう。
- いや、その後が想像できますもんね。
- そこまで…そういうことまで（行政で）考えてくれてたんですか。そういう、（学校がなくなることで）地域がバラバラになるという…。

（筋原生野区長）

- 地域の問題は一番…。これが原因で起こったらあかんことなんで。ですので、そこは
どういう工夫で、求心力を維持していくかっていうのはまさにこれから、我々も一緒に
考えさせてもらいたいと思うんですけど。

（川楠まちづくり推進担当課長）

- 学校再編がきっかけで、学校は再編されるけれども、連合の形を変えるわけではない
よっていうのは、ずっと行政の説明ではずっとそういう説明を…。

（検討会議メンバー）

- うん。僕も聞いてますからね。

（川楠まちづくり推進担当課長）

- ただ、今のご懸念、ご心配っていうのは、それはそれで非常にごもつともだと思いま
す。我々がなんぼ口で言うても、地域終わるわけじゃありませんよって言ってきました
けど、そんだけ皆さんご心配されるご不安を抱えて、思い付くということは本当に
その通り、将来を心配されてると思うんです。今区長申しましたように、我々として
も、それは本意ではありませんので、何かこう、できるような形、地域行事の新しい
選び方とか、青指活動であったりとかというところで、新しく事業者が進出してから
の、何かそういう仕組みといたしますか、そういったところに繋がっていったり、なる
と思うんです。ただ、今何が言えるかというとなんとも言えませんがね。

（検討会議メンバー）

- だからこういうね、こういうのって全部ね、もう 1 つの絵書いてある。でも絵に書いた
餅になってしまうと…。

（川楠まちづくり推進担当課長）

- あくまでモデルなんです、構想という、ちょっとふわっとした形にはなってますん
で、これを勝山のエリアでやったらどうなるかっていう勝山の形を、作っていかなあ
かんという、それがまちづくり構想の実現ということになるので、どんな事業者に
来て欲しいかという要件に関して、いろんなご意見いただきたいっていう今その時間な
んですけど。言ってるのは、そういうことを実現していきたい、という趣旨ですので、
先ほど、大きな広場、公園の方がいい、とか、あと、多世代、子どもも大人も交流で
きるような場であって欲しいというようなことは…

（検討会議メンバー）

- 例えば週に 2 回ぐらいは、子どもたちの広場がここら辺にはないから、遊ばせられる
ようなとか、そういう時間帯とかを決めていただいて、勝山の子どもが、自由にこの
跡地で走り回ってるというのも。見てる僕らもね、安心できるしね。
- 例えばね。勝山で、一部は南へ言ってるけどほぼ東桃谷行ってるじゃないですか。だ
から割と東桃谷とは交流がそこそこあるんですね。割と顔や名前や、僕だけかもわか

らんけど、西生野って、全く。誰が誰やら。この辺の人はね、西生野ほぼ繋がらないので、ほぼ初めまして状態。例えばそういうのを、何ていうか、こう繋ぐようなね、例えば、まちづくりセンターみたいな、大人同士が初めて議論してうまくいくのか今ちょっと想像つかないんで。だからそれをコーディネートしてもらおうような、仕組みというか、何か、やってもらえへんかったら、大人がなかなかそんな腹を割って話してうまくいくとはちょっと思えないので…。

- 確かにね、西生野知らんもんな。
- 西生野も4校がね、集まってて…ちらちら聞いた話では、4つ集まった中では、あんまりしっくりいってないって聞いている。
- そらうまいこといかんわな。
- だからやっぱり、人、仕組み。
- 未来学園はどこどこが来てるの？
- 生野、西生野、林寺、舍利寺。
- 遠いところからきてるからね、舍利寺なんてあの大きな道路を渡ってね。
- 勝山の町会長って、みんなね、おとなしい人ばかりなんですよ。揉め事ないもんね。うん。
- いや、他は4校がまとまって一緒になってますけど、勝山は分かれてしまうわけやからね。ちょっと問題ですね。今までは勝山校下としてまとまっていたものをね、2つに割られるとね、本当に地域の活動なんてできませんよね。
- だからそういうコーディネートというか、アドバイザーというか、どういう言葉かわからへんけど。ちょっと考えて欲しいね。
- 余談やけど、北鶴橋さんはあれやね、新大阪病院になりますんやね。まああそこ借地やもんね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 借地を解消せなあかんので、民間の地権者さんと大阪市の土地でバラバラになってしまふ。と。あつちはあつちでそういう課題があつて、それに沿った検討せなあかんっていう。

(検討会議メンバー)

- 地域それぞれ、課題がありますもんね。まあちょっと、しつこいようですけど、なんかちょっと公園みたいなんでね、勝山連合として行事できるようなね…理想ですけどね。
- 勝山小学校に行つて、地域の子どもも遊ぼうよ、お年寄りも遊ぼうよってね。1つのやっぱ憩いの場もね。
- そうなんですよ。あとの公園ちょっと狭いんですよ。みんなね。地震がきたらね。
- 選挙は勝山小学校でやるんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 選挙管理委員会が決めることにはなるんですけども、今勝山連合でやっておられるので基本的にはそれが続くんだと…。(活用事業者に) 付ける条件としては、他の学校跡地は、選挙のときは開放しなさいよっていう条件つけてますんで、選挙ありましたけど、実際、対応してもらつて。それぞれの地域、全部そこ(跡地を)投票所にしてま

す。事業者も開放してます。

(検討会議メンバー)

- 基本は、今回、統合される2ヶ所のうち近い方へいくのが、僕は普通やと思う。そんなわざわざ遠いところまで行こうと思えへん。だけど、今までは1つの学校に統廃合されてたから、いろんな場所がなくなるからということで、各地域で、投票機能を残したり、ね、防災拠点を残したりしてますやん。今度は、違うんですよね、ちょっと。投票所もちょっと。うちの町会、25号線通り沿いです、もうすぐそこ。小学校区分でもそうですよ、なんで西生野通り越してこんなところまで…って思ってる。せやから我々は基本的には近い投票所行かせてほしいって思ってますよ。

(筋原生野区長)

- これは、前の区の話ですけど、港区でもちょっと校区変更は、一部あって、おっしゃるように、校区変更したところは、すぐ近くの方の投票所の方へ行きたいってということで、地域からご要望いただいて、選挙管理委員会でそれを受けて、そうなったという事例はあります。

(検討会議メンバー)

- 地域がどうしてもって言うたら、変わるっていうことやね。
- 投票所はね、毎日行くこと違うから…
- 各地域の投票、選挙管理委員会で決めて、例えば、私ら勝山が、西生野も1人か2人お手伝いせなあかんやろ、向こうもいかなあかんってなる。それはね。それはそれ解決できるよ。地域の防災拠点だってそう。何でもそれ地域で進めていけないと。今までは学校単位でやってた、勝山小学校。いや、子ども一緒に行こうやとかね、いろいろやってましたよ。今度、こっちがもう今、すでにね。悪いけど、未来学園に、うちはほとんど行ってる。ほとんど行ってます。ここ2年全然ここへけえへん。本当勝山小学校だけで話しやとったら、うちの地域のこと通らない。ほんまやで。それやから地域でやらなあかん。そういうふうにやっていかなあかんって僕は思う。

ただ、今まで基本的にね、教育施設ということで話進めて来てたと思うんですけど、これ今ちょっと話聞いてたら、子どものオアシスの場を確保してほしいなという意見が出てましたやんか。ある程度教育施設を解体して、(次の事業を)やったときに、グラウンドの大きさとか何もわかりませんやんね。だから、いま何か言うたら聞いてくれるいうことやね。まあ事業者相手の話やけどね。

- あの、前、言っはったでしよ。勝山の場合は朝、送ってきてくれる見守り隊。んで、うち熱心やんか。それは向こうから言うたらね、「いやもう立とったらええねん」っていうことを言うけども、一生懸命頑張ってくれてはる人が、「東桃谷にはよう行かんや。」って。うん。見守り隊って言うけどね、見守り隊のメンバーの方が見守ったらなあきませんよ。
- 年寄り多いね。協力してくれはる。
- こんだけ一生懸命やってくれはるとこ、勝山(のように)ね、ないですよね。この人たちもここ(跡地検討会議に)入ってきた方がええんちゃうって、前言うてましたね。
- それはどっかであるんですよね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 見守りの件は、学校再編の方の学校適正配置検討会議で…

(筋原生野区長)

- そこでやってるんで。月曜日ですけど。専門部会でやったらどうでしょうかって、ちょっと提案させてもらおうと思ってますけど。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 学校の考え、学校の責任っていうのもあるので、前の過去の再編の事例でしたら、それまで再編前の学校の段階で、校長先生中心に状態、通学路の案を出したりとか、見守り隊の位置はこのあたりにしたほうがいいのかっていうのも全部、事前に調整をして、そこで、そこから学校、新しい学校スタートとしますんで、できるだけ通学路の安全確保っていうのは、もう保護者の方地域の方の一大の関心事です。不安をできるだけもうなくすような状況ですね。

(検討会議メンバー)

- 子どもさん小さいところは心配してはと思うんです、これから東桃谷に通うの？って。
- そうです。本当に心配です。それで事故なんてあったらね、もう恨みますね。
- そうでしょうね。そこで事故なんてあったらね、見てみてね。
- ただいまの見守りやっておられる方が、今度学校できるって6年後でしょ。6年後に同じように見守りやってくれているかどうかっていうのは…。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 今の見守りやっておられる地域の小学校に行く方は、東桃谷で統合される、そちらの方へ行く、もしくは生野未来学園に調整区域で10町会とかそちらの方へ行くということなので、令和8年度から、そういう形になるので、それまでにその間の見守り、そっからの見守りをどうするかっていう、適正化に向けた…

(検討会議メンバー)

- これ今ね、その未来学園、舍利寺あたりから通ってる見守り隊って地域いてるんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- あの、その地域でどのように見守りされてるかってのは、私詳細は聞いてないんですけど。集団登校されてますんで、ここのポイントに何人集まるっていうのも、もう個人特定して、ここの誰々君はここへ集まる。例えば3人そろったら…

(検討会議メンバー)

- うんわかる。それはね、登校時。下校時はどうなんですか。下校時は学年によって早いとか遅いとかもありますやんか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- その辺、下校のときには確かにちょっと時間に幅があります。1年生から6年生まで。その間どうするかっていうのは、やはりその新しい学校でどうするかっていうの、4地域集まった、そういう話し合い、学校の指導とか、いう形になる。下校時間まで見守っているかっていうのは、ちょっと私も知らないんですけども。

(検討会議メンバー)

- 勝山はいてはりますよ。ねえ、うん。

- 勝山は向こうの歩道橋渡りやっていう話ですよ。その辺は立ってはる。
- いや、こっちも立ってはる。
- うん。んで歩道橋上がらん子どもも居るじゃないですか。そしたら、「上がりや」ってね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- あの、黄色、蛍光色のあれ（ベスト）、着てはる？

(検討会議メンバー)

- そこは、うちは、普通の服で。
- 見守り隊の腕章。
- だからその辺ね、要するに具体的にね、進めていく。絵に書いた餅にならないようにしないと、実質上、どうすんねんという。実施するにあたって、ここはこうしますということ。で、実際にやってみて、どこ、どこに不備があるのかという途中点検もやらないかんですよ。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- だから学校再編の検討会議の方は学校再編が整って、新しい学校になったから終わりではなくて、会議ではなくなりますけど、そういう議論は、新しい学校のPTAの活動であったり…

(検討会議メンバー)

- 向こうの学校再編の適性のありましたねあのときに、僕、校歌どないしようとかね。
- だから、校章どないしようとか、制服どないしようとか、僕らの心配は違うねん。僕ら校歌どうでもええ、そなん誰かが作ったらええねや。校章もね。どうでもええねや、制服もどうでもええねん。問題は、安全なんですよ、遠いところへ行く。

(筋原生野区長)

- そこは月曜日まさに、専門部会で（話し合いを）やったらどうでしょうかというご提案させたらと。

(検討会議メンバー)

- 安全と、教育の質の向上。だから、両方とも、教育、頑張ってもうて、上げてもらってね。
- 勝山小学校は今のところ集団登校でね。東桃谷自由登校なんですよ。そう集団じゃないんですよ。うち孫が、東桃谷小学校1年生でいてるんですけど。そしたらうちの家からでもね、疎開道路渡らなあかんし、猫間川の信号のないところもあるし、そなんんで、南側の町会のほうやったら勝山通り渡らなあかんわ、疎開道路渡らなあかんわでね、すごい不安ですよ。
- そもそも論に入るとね。勝山小学校は、生野区全体から言うと、いつも学校協議会でも言うてるやん、成績もさ、トップなんですよ。教育の質は良いんですよ。それが他へ行ったときに、質下がってしまったら、何にもないんですよ。
- 頑張ってもらえん。
- 大阪市レベルではかなり高いってね、聞いてますね。生野区ではトップやって。
- んでこれもう、余談になるけども、ほんま言うたらね、2クラスできるほど勝山に、今のところですよ、ここ1年多いんですよって、校長先生言うてはるんです。40何人って。

それが 17 人しかいてないっていうのは、もう廃校なのわかってるから全部逃げたわけ
でしょ。

- どちらかというと勝山の方がちょっとだけ多く、東桃谷よりも。それがね、流れてね。
うちもですけど。
- あ、この間回覧版でね、1 回目の会議の話、出してくれはったじゃないですか、反
応的にはなかったんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 区役所の方に具体的に、こういうとか区政に対する問い合わせとか、何かこう、ご意
見とかはなかったですね。

(検討会議メンバー)

- 今日の会議のあれも回覧版出してくれはる。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- はい、ニュースを作ります。今日の会議やるっていうことも、前回もありましたけど、
情報としてはアップしてますし、掲示板、この時間、この会議ありますよというのは、
一応告知はさしてもらってるんですけど。

(検討会議メンバー)

- 回覧板って基本的に見いひんやろ。細かいこと。
- ホームページはあんまりやけど、回覧板は見るでしょう。
- それは関係のある人はね。子どもがいてるとかね。そんな、もう子どもなんて居らん
わと。勝山に住んでるのは子どもだけ違う、年寄りも住んでんねん、地域が分断され
るって、そんなこと誰も興味ないんでしょね。
- せやけど、勝山小学校記念公園としてね、使ってやって欲しいという意見のおばちゃ
んが居てたってちょっと書いといてほしい。勝山記念公園、まだありますけど、そう
なりますやんか。
- もしそんな意見届いたら、必ずまた…

(筋原生野区長)

- そんなご意見があったということは、それはもちろん…

(検討会議メンバー)

- ちょうどね何か今日から森林税かなんかで、新しい税金 1 人 1000 円取られるいうて。
環境税ですね。だからそれで、府も取って、市も取って、今度国も取って、二重じゃ
ないかっていうのが今ちょっと問題になってるんやけども。そのお金を使えば、例え
ば大阪府の森林組合から木を買って、ここにそれを使った材木を多く使った公園を作
りましょうみたいなことをやってくると、市民は喜ぶなど。
- はい。みんなが憩いの場所がなさすぎるからそれを作って欲しいというお願いをした
んです。
- 勝山小学校は緑ないから、あそこはね。緑が。
- 緑増やしたら、今度管理する予算（の問題）が出てくるでしょう。
- せやけど、ものすごい使用制限されるで、大阪市になったら。うちは児童遊園がある
からな。いろんなことができます、町会のね。でも、市で（管理となれば）、勝手に餅つ
きやってみ、怒られますで。バーベキューなんてしたらもう…。いろいろあんねんて。

- だから現実はね。どここの事業者に委託してもらって、共栄共存っていうのが一番…。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- そうですね。跡地活用事業の、もうそもそもの根幹は、民間の活用事業者に進出してもらって、そこで事業をやってもらいながら、維持管理をしっかりとやらしてもらってというのがもうその描いてる姿ですので、そういうことで実現して参りたいというのが我々の。

(検討会議メンバー)

- やっぱりね、共存共栄ですわね。
- うんしゃあないけど良かったなみたいなね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 今おっしゃられてる中でも、今の共存共栄もそうですし、憩いの場所っていうのもすごいキーワードだと思いますしね。子どもが集える場所とか高齢者も含めてかもしれないけど、というようなこととかも、一文に盛り込んだものが、勝山としての求める要件やと、ということでまとめていけそうな気にはなっています。

(検討会議メンバー)

- 生野西公園行ったら、お年寄り言うてます。あそこ行ったら座るとこないって。ベンチ置いてくれへんかって。だから大きなところって、勝山小学校の校庭に大きな木も植えて、ベンチも置いたら、それこそ地域の集いの場所に、なるやないですか。
- 富田林なんかね、公園のベンチで防災ベンチだったんですよ。災害だったらそのベンチ座るところの木を外して、それを燃やすんですよ。その下がちゃんと竈になったんですよ。だから災害だったらそこで食事をつくれるっていうふうなベンチを入れてやって。

(筋原生野区長)

- うちね、御幸森でそれやってますね。

(検討会議メンバー)

- そうなんですか。
- すごいな。
- うん。でもね、阪神淡路大震災のときはね、腐るほど木あったんですよ。家が全部つぶれてるから。なんぼでもそれ持ってこれるし、水は水道管パッキンわれてるからそこで水汲んで。家から鍋もっていったら、持ってる米炊いて何日間か過ごしたっていうのがあったみたいですけどね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- すいません。ちょっと時間はもう大分経過してきましたので、今までいただいたご意見、ご発言のキーワードとか思いとかっていうのをちょっと、我々の方で一旦整理をしまして、また次回以降ですね、形にしたものを1度お示しをさせていただきます。

(検討会議メンバー)

- これね、何回も会議してますやん。それぞれ意見を言われ、そんときに、これはもう今検討してます。これは実行に移しますというね。その辺の結果の部分が、いつもこう、ここ、こうしたらしたらええというけども、それを実際に、現実にしていく、準

備やりますよっていうところを、出してもらうと。私がいった意見やと。次も行って言おうかっていうことになるからね。

- 具体的にはこの公募っていつから始まるのんですか。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 資料の…一番最後めくっていただきまして、16 ページ。ちょっと大きな計画にはなっておりますけれども、まずその活用の計画案にまとめまして、マーケットサウンディング、事業者の方、民間に、広くちょっとご意見いただきたいという、いろんな条件つけていただいたものを図りましてね、それも踏まえて最終計画を作ります。その上で、事業者公募、令和7年、来年度に、どこかで。できるだけ早く始めたいなと思っております。

(検討会議メンバー)

- 早くせえへんかったら、みんな不安をずっと持って過ごすんですもんね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 令和8年3月で、閉校になってしまうということが決まっておりますので、それまでに事業者の活用とかが決まっていとかね、見通しが立っていないということだったら、それはご不安が増すと思います。そんなことないように、今こういう状況です、というようなことは、逐次お知らせしながら、目に見える形でやっていきたいと思います。

(検討会議メンバー)

- 前も聞いたけど、この公募を決定する中には勝山の地域の人は入られへんねんね。

(筋原生野区長)

- はい。

(検討会議メンバー)

- ねえ。入れてくれたらね。

(筋原生野区長)

- 外部委員ですね。そこはもう…。

(検討会議メンバー)

- (人は) ほぼ決まってるんですかね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- どの有識者が選定委員するとかは、まったくないですね。

(検討会議メンバー)

- 有識者の方に勝山の熱意みたいのは伝わるんですかね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- もちろんそれは、我々がしっかりご説明を…。

(検討会議メンバー)

- しっかり書いてくださいね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 以前の跡地検討の場面でも、そういうのをしっかり伝えてくださいよっていう、言っておられた地域も…

(検討会議メンバー)

- せやけど勝山小学校の跡地問題ですよ。それに勝山の人が入っていないっていうのは、

なんかなあ。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 選定の場面、事業者決める場面、大阪市の中での事業者決定の手続きで、やっぱり、そういう、ちょっと関係のある人は・・・

(検討会議メンバー)

- 利害が絡むから駄目ですということですね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- そうですね。

(検討会議メンバー)

- しっかりと伝えていただいて。
- 我々の思いを汲み取ってもうてね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- はい。

(検討会議メンバー)

- 残り（の資料は）見といてくれという…

(川楠まちづくり推進担当課長)

- すみません。ちょっと時間もあれなんで、駆け足になるかもしれませんが、ちょっと入らせてください。一番の議題については、我々いただいたものをちょっと考えましてまた次に示させていただきます。2 番のですね、地域コミュニティの継続ということで、10 ページです。これまでも再三申し上げておりますけども、地域の行事活動、今もお話になってましたけれども、継続してできるようにという、そういう条件を設定してやっていきたいと。で、生涯学習の学校体育施設開放事業で、これまで学校でやられた、活動ですね、そういったことは、基本的にはその大阪市の事業ですので、各学校に1つの運営委員会というような形でやっていってるものもございますので、基本的には統合先の学校、東桃谷に統合されたら、そこと一緒になってできないかということをもとに考えてもらいたい。ということで、それが方向性として今お示しさせていただいてます。ただ、これは本当に一緒になってやっていくようなスペースの問題であったり、時間帯の問題だったり、ばっちりかち合うようなことがあったらどうするのか。それは、実際ここで活動されてる、その双方の地域の運営の、考え方、とのお話し合いとかを含めまして、そういったところで議論を深めていきたいというふうに思っておりますので、これ基本的な方向で示させていただいております。11 ページ以降でございます。まず小学校の地域の行事ということで、ちょっとお聞きして、事前にいろんなところから聞いておったところをまとめたんですけども、ちょっと変更だったら、お話出てました。たそがれコンサートで餅つきとか、ここちょっと入れられてないんです。なので、またね、それ以外、地域行事としてずっとやってきた、これは外せないというような内容のものを…

(検討会議メンバー)

- 盆踊りは？
- 花見っていつやってました？花火も。花見と花火。
- 盆踊り代わりにあれやってんね。

- 盆踊りの変わりにたそがれコンサート。花見もやってた。
- やってます。
- お花見会と、駄菓子祭りはいつやったか。
- お花見は4月。駄菓子はそのときによって変わるが大体9月から10月。もちつきは12月。
- 花火は青指さんがやってくれるときあるもんな。
- あれはね、サマーキャンプができなかったから、代わり子どもたちに、行事がないのはかわいそうすぎるっていうのでやったということです。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 地域行事として、青指さんがやるにしても、それを…

(検討会議メンバー)

- P T Aさんが毎年校庭キャンプっていうのをやってはるんですよ。それは小学校4年生、3年生から4年生ですか。4年生の子どもたちを対象に、自炊して、テントをはって一泊するというふうな行事やってたと思います。
- 今もやってますね。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- これはですね各学校のP T Aの話にもなりますから、新しい学校になったときにどうするかっていう…東桃谷で、1つのP T Aになったときに、いや、もう東桃谷でやるのか。勝山の方は…。

(検討会議メンバー)

- ほら、こんな問題が出てくるんや。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- そうですね。やっぱり決めていかないと…。

(検討会議メンバー)

- 勝山は勝山でやりたいな。
- いや、子どもがお前あかんぞみたいになったらかわいそうやなと…。
- そうやね。お前、東桃谷やないかと言うことになったらね…
- 旧何とか、元勝山が言うんじゃねえ。なかなか…。

(川楠まちづくり推進担当課長)

- 今おっしゃっていただいた内容をちょっとまた加味しまして、表を綺麗にしまして、また次回お示し、次のページ11 ページの後段と12 ページ以降はですね、生涯学習ルームと学校体育施設開放事業で聞いている、活動しているという内容をここに示します。

生涯学習ルームも、基本的には学体も一緒ですけど、基本的には新しい学校で統合して、そちらの方でまずやることを考えてもらいたいというのは、当事者同士のまたお話し合いといいますか。調整の場という、また我々設定していきたいと思ってますんで、大分こう、いろんな活動をされてますので、すぐにはこう方向方定まらないかもしれませんが、1個ずつ解きほぐしながらやっていこうと思ってます。その辺は、もしそういう活動をされてるというのありましたらご意見をいただきたいですし、またよろしくお願いします。ですので、今日のところは、こういう内容があるという

ことをご確認いただければと思います。というのが、11・12・13 ページでございます。13 ページの下※印のところでは若干我々が考えてることがございまして、学校の中で、地域の物品であるとか、倉庫で一定保管されてると思うんですけども、やはり校舎解体したら、一旦その物をどっかへ移さなアカンというようなことも、できたら、もういらんものってそんときに処分するとかいう、お考えいただくというのものもあるかと思うんですけど、その代替の移設場所も我々ちょっと、考えてますんで、その辺はまた、この会議の中ではなくとも、また調整、ご報告させていただきたいと思っておりますんで、そういったことがありますよというのが、※印です。

すいません、続いて14 ページでございます。こういったことはですね、地域の主要施設の使用は年度末に対する地域年間行事スケジュールに準ずるということで、なんていいますか3者協議、地域と我々と事業者と、この3者協議の場で、その時その時確認しながら、確実にできるようにということで、確認していく予定でございますんでその辺は、運営委員会、事業者が決まって、契約で引き渡したら、知りませんということに、ならないようにしていきますので、その辺はご安心いただきたいと思います。

あと参考資料で、勝山の平面図、先ほど、確認しましたスケジュールに触れてますんで、またご覧いただけたらと思います。

どうもありがとうございました。